



組織的に取り組むためには

早いものでもう9月に入った。教育研究所が主催する各種研修会もほぼ計画通り開催できている。その中で「組織的に取り組む事が大事である」と、私は研修会等で先生方によく使っている。各学校では、組織的な取組が充実している部分、もう少し組織的な取組を充実させたい部分があるのではないかと。夏季休暇中に読んだ養老孟司著の「バカの壁」に「仕事が専門化することは、入出力が限定化されていく」と言う一節があった。その「入出力の限定化」が、教員にも当てはまる部分があるのではないかと考え、私見を述べてみたいと思う。

学校には組織的に取り組む課題が山積している。一例だが、会議の精選、生徒指導、授業改善、一人一台端末の活用、働き方改革などがあり、組織的に取り組むことで成否が決まってくる。これらの課題に対して、一人で考え対応するには限界があり無理である。先生方は、ある課題に対しては、組織的に取り組む必要性はお互い理解しているが、組織的に取り組むてない部分があるのではないかと。理解しているのに取組が進まないのはどうだろうか。教員の経験値は様々である。経験を重ねるうちに、指導のコツみたいなものを習得し、それが独自の理論へと進化、その後、経験に基づく教育信念が形成され、「入出力の限定化」となっていないか。学級経営や授業等は、教室などの閉ざされた空間で行われることが多い。教員の教育信念を根底に課題の対応策が個々で決定されているとすれば、ある教育課題に対し、「組織的に取り組む事」の言葉以上に、日常の実践が簡単ではないのは当然なのかもしれない。ではどのようにすれば組織的に取り組むことが出来るのだろうか。組織的な取組みが簡単ではないことを前提に考える必要がある。いくつか方法があると思うが、「課題の見える化」をしてはどうか。例えば、教科毎のタブレットの活用時間数のデータがあるとしよう。データから何が見えるかを全体で話し合ってみる。教育信念が違う教員では、おそらくデータの見え方も違うであろう。「この場面では有効だろうな」、「反対に」タブレット活用より、これまでの実践で大丈夫」と捉える教員もいるかもしれない。お互いの認識の違いを理解しながら、可能な範囲で折り合いをつけていくことが必要だと考える。少なくとも、無理矢理とか、同調圧力とかで「タブレットを活用する」と言っても、組織的な取組になりにくい気がする。

また、「課題の見える化」は「自分事として捉える」ことにも繋がると思う。課題改善に向け、「他人事」にならないようにする。各担当や得意な人に任せるなどの「他人事」の捉えではなく、データ等を基にみながら「自分事」として考える場を設けることが肝要であると思う。課題をデータ化等で見える化できれば、課題認識のベースにしやすい「自分事」として捉えやすいのではないだろうか。

さらに、「気付き」である。例えばデータを見たとき、「毎時間タブレットを活用するわけではないんだ」とか、「いろんなアプリがあるな」や「意外と簡単にできそうだな」などといった、多くの教員が共通に気付く瞬間があると思う。そこを共有できれば、自分自身を振り返り、「入出力の限定化」が崩れ、各教員の教育信念が更新されると考える。

以上のことから、教員の教育信念を尊重しながら、ある課題に対しては改善に向け、全体で考える場を工夫し、「課題の見える化」「自分事として捉える」「気付き」などを通して、どのようにしていきたいのかを全教員で話し合った後、組織的な取組に繋げる事が重要なものかもしれない。

9月 研究所事業予定

1(木)	初任者研修⑩	オンデマンド
13(火)	情報教育研修会④	オンライン

那覇市 GIGA スクール運営支援センターについて

那覇市立小中学校の教職員が相談できるヘルプデスクを開設し7月13日から運用しています。授業での活用に加え、端末の操作トラブルやネットワーク障害、アプリケーションについて相談できます。<平日>9:00~17:30
HPより那覇市 ICT 教育推進部会実践事例サイトをご覧ください。

新刊図書のご案内

書名	著者
授業革命「発問-応答」型から「参加-構成」型へ	服部 英雄
居心地の悪くないクラスづくり	めがね旦那
「個別最適な学び」を実現する算数授業のつくり方	加固 希支男
教科別でわかる！ タブレット活用授業	田中 博之
逆引き版 ICT 活用授業ハンドブック	渡辺 光輝

教育研究所の図書室には毎月10冊程度の新刊が入ってきます。図書搬送システムを利用した貸し出しもできます。詳しくは学校図書司書へ。

118 期教育研究員

新垣 研究員(幼児教育)
神崎 研究員(特別活動)
國場 研究員(ICT 教育)

研究所での6ヶ月間の研究成果を、検証授業での様子を交えて報告会を開催いたします。

今回は、一般の方の参加はできませんが、研究所ホームページに研究報告書を掲載すると共に、報告会終了後、限定公開にて、期間を設けてオンデマンド配信をいたします。

6(火)	プレゼン検討会
27(火)	第118期成果報告会・修了式

各種研修の状況について

初任者研修	11、12月のグループ研に向けて取り組む。
中堅教諭等 資質向上研修	道徳科または特別活動の研究授業の実施および特定課題研究報告会(2月)に向けて、校内での研修に取り組み、報告書にまとめる。
教職2年目研修	課題研究報告会(2月)に向けて、テーマに即した検証授業に取り組み、報告書にまとめる。
教職3年目研修	校内にて、道徳科または特別活動の研究授業に取り組む。
教職5年経験者 研修	校内にて、2回の研究授業(教科、道徳科または特別活動)に取り組む。

中堅・2・3・5年研については、年度当初に校内研修計画を作成・提出してもらっています。計画通りの実施と報告書等の提出が滞らないようにお願いします。